大分市立
野津原小学校
学校だより

# のつはる

*主体的に学び 行動できる児童の育成*

第4号
令和8年5月29日
校長 水田 匡彦

## ■1学期の前半が終わります

五月末に一学期の前半が終了します。子どもたちはやる気に満ち溢れて一年をスタートしました。一学期の折り返しのタイミングで、一学期最初に立てためあて・目標を達成できているかをふり返ることがとても大切です。めあてを未だ達成できていない場合でも、きちんとふり返り、どうすれば達成できるかを考えて行動すれば、一学期後半でめあてを十分達成できます。人生は、目標設定、計画立案、検証、改善の繰り返しです。そのため、小学生時代に、目標設定、実行、検証、改善（いわゆるPDCA）ができるようになれば、生きる力になること、間違いありません。なお、一学期の始業式で、2年生から6年生に期待する課題を伝えました。一学期末に、どの学年も胸を張ってできていますと言ってくれることを期待しています。

- □2年生 ①授業と休み時間のメリハリ ②正しい姿勢
- □3年生 ①相手に伝わるように話す ②人の話をきちんと、正しく聞く
- □4年生 ①教室内の整理整頓 ②静かに落ち着いて勉強する
- □5年生 ①6年生と仲良く交流 ②学校全体を良くする提案と実行
- □6年生 ①自分の発言に対する責任 ②学校全体を考えた行動

## ■『すいみんふり返りカード』のご協力をお願いします

小学生の健全な成長には、十分な睡眠時間の確保が必要であるということは、釈迦に説法かもしれません。ただ、学校アンケート等の結果や学校を巡回して見る子どもたちの様子から、十分な睡眠がとれていない姿が散見されます。そこで、生活習慣の基盤である睡眠習慣の改善に取り組むこととしました。お家の方にはお手数をおかけしますが、お子さんの健やかな成長のため、ご協力をお願いいたします。なお、睡眠実績は、データ解析のうえ、フィードバックさせていただく予定です。子どもたちが十分な睡眠をとれば、前向きに自分から行動する子どもたちが増えると想像しています。

## ■野津原中学校区小中一貫教育

野津原小学校と野津原中学校は、小中一貫教育として、年間5回の合同研修会を実施します。合同研修会では、小中9年間を見据えて育成したい児童・生徒像を協議するとともに、成長段階に合わせた具体像を示すことを検討していきます。今年度は、小学校内に『キャリア教育』の掲示板を作成し、野津原中学生の活躍も紹介していきたいと思います。

5/23に開催した野津原中学校の体育大会では、小学校卒業後間もない中学1年生も、自分の役割を果たす姿や、チームのためにがんばる姿を見せてくれました。体育大会を観戦した多くの小学生にも良い刺激になったことでしょう。

## ■学校経営の重点目標

令和8年度の野津原小学校学校経営計画表を策定しました。重点目標は、人間性・社会性を育む「相手意識を持つ児童の育成」、「主体的に学ぶ児童の育成」、「主体的に行動する児童の育成」です。これらの重点目標を達成するために、どういう取組をすればよいかを検討しました。この学校経営計画表は、第1回学校運営協議会（5/22）で説明・協議するとともに、市教委訪問、教育事務所訪問でも説明・協議してまいります。また、教職員は、学校の重点目標が達成できるようにベクトルを合わせて、自身の目標を設定しています。

## 学校経営計画

| 【学校・学級の取組（週1回以上）】 | 【目標】 |
|---|---|
| 「笑顔いっぱい宣言」をふり返らせて、言動を確認させる<br>気になる言葉使いをふり返り、適切な言葉使いを指導する<br>担任外が人間関係づくりプログラムを実施する環境を整える | 日常の言動を「笑顔いっぱい宣言」でふり返り、相手意識を持つ児童を育成する |
| 授業の中で、話し方、聞き方、質問の仕方を指導する<br>学級や集会で、児童に自分の意見や考えを発表させる<br>児童のふり返りや文章に、良い点と次に繋がる課題を示す | 書くことと対話を重視した授業を行い、主体的に学ぶ児童を育成する |
| 睡眠など、生活習慣をふり返らせて、生活習慣の改善を促す<br>落ち着いた環境で学習するために、教室内の整理整頓を促す<br>授業や行事等で、児童が自ら考え行動する動機付けを行う | きっかけや役割を与える等の動機付けを行い、主体的に行動する児童を育成する |